

関西北陸ブロック ブロック学生委員会 #2

概要

日程：2025年5月10日(土) 13:00-17:00
場所：新大阪丸ビル別館4階Gタイプ

参加者

富山大(6)、富県大(5)、福井大(4)、立命館(2)、京都医大・府大(4)、龍谷大(1)、京教大(3)、京都工繊大(4)、京都橘(2)、奈良女(4)、奈教大(3)、奈県大(4)、滋県大(4)、大経大(6)、大教大(5)、近畿大(4)、阪南大(3)、大阪大(1)、和歌山(4)、神戸市外大(2)、関学大(2)、兵県大(7)、ブロック(18)
22会員98名(ブロック事務局18名含む)



早速第一問

「あなたは食糧担当の職員です。」

被災から数時間、避難所には3000人が避難していると確かな情報が得られた。現時点で確保できた食糧は2000食。以降の見通しは今のところなし。まず2000食を配る？」

人によって視点が違うこともあり、かなり話が発展して良かった。
(和歌山・3年)

01 アイスブレイク

「災害クロスロード」を通して、災害を自分事に

アイスブレイクとして、阪神淡路大震災で実際に起こった「災害時のジレンマ」について、「こんな状況だったらあなたははどうする？」を考え話し合うゲームを行いました。

災害時には、その場で自分自身で判断し、対応する必要があります。そのためには、災害が起こる前から災害について「自分事」として考えることが大切です。今回は、ゲームを通してそのような機会をもつことができました。

02 給付事例学習会

給付事例から学び、考え、実感すること

たすけあいアンケートをもとに給付事例を読み、その背景や当事者の気持ちの変化について考えました。そのうえで、自分や身近な人が同じ状況になったときにどうするかを話し合いました。

実際の給付事例や学生の生活実態を知ること、学生生活に潜むリスクへの理解が深まり、大学生活に寄り添った共済活動の重要性を実感することができました。また、給付を受けた方の声に触れることで、「たすけあい」の実感に繋がる学びの場となりました。

参加者からは、「意外な給付事例を知って共済の知識が深まった」「給付を受けた人の立場に立って考えることができた」という声があり、共済について主体的に考えられる有意義な時間になりました。

今後は、学生総合共済の価値と意義を改めて確認し、組合員の声を生かしながら、共済事業・活動をさらに盛り上げていけるよう、各会員生協で給付事例学習会を実施し、学生と職員が共に共済のこれからを考えるきっかけをつくってほしいです。



自大学のアンケートも確認し、どのような取り組みが効果的か考えようと思いました。
(大教大・2年)

実際のたすけあいアンケートをみながら考えるのがおもしろかったです。自大学のアンケートもみたいなと思いました！
(龍谷大・3年)



03 理事会と学生委員会について

両者の役割と“つながり”を意識する

この時間では、「理事会」と「学生委員会」について理解を深め、両者の関係性について考えました。ブロック学生委員会は学生理事が多く集まる場であり、学生理事を経験した上回生と新任学生理事それぞれの立場から、理事会とのつながりや役割を見つめ直す機会となりました。

今回の学びをふまえ、今後は理事会に「ただ出席する」のではなく、「意味をもって主体的に参加する」姿勢を大切にしていきたいと思います。

まとめ

学生委員会は理事会の補助執行機関！
→組合員の声・想いを理事会に伝える！

理事会は学生委員会に組合員の現状を届ける！
→学生委員会活動のきっかけを作る！

お互いに提案・実践し合う関係性を意識しよう！
誰のため、何のために活動するのかを改めて考えよう！

自大学では学生委員会があまり話したりすることがなく、聞き手にしか回っていないので、頑張って発言をして学生委員会から理事会に矢印を出していきたいと思いました。
(富県大・2年)

04 新学期お疲れ様の会

振り返りから、次の新学期活動に活かす

各大学の新学期活動を振り返り、それぞれの取り組みを共有しました。自大学のよかった点や反省点に気づくとともに、他大学の事例から新たな学びを得ることができ、来年度の新学期活動に向けた土台が築かれました。

来年度に向けて早めに動き出すためにも、今回の学びをより多くの人と、大きな場で深められる「新学期スタートダッシュセミナー」にぜひご参加ください！



自分の大学の新学期の活動の魅力を伝えたり、他大学の取り組みを知ることができてよかった。
(大経大・3年)

05 半期総括について

ブロック方針を意識した、上半期の振り返り

この時間では、2月のブロック学生委員会で確認した「関西北陸ブロック方針」を振り返り、4つの推進分野について理解を深めたうえで、自大学の1～6月の活動をその視点から振り返るワークを行いました。

現時点での到達点と今後の課題を整理し、今後の活動の方向性を考えることができました。ぜひ自大学にも持ち帰り、仲間とともに振り返りを行いながら、下半期の活動につなげていきたいと思います。



項目ごとに分けることで、何が足りないのかが分かり、それに向けての取り組みを考えるきっかけを作ることが出来た。
(奈教大・2年)



次回のブロック学生委員会は—

2025年8月2日(土)

ご参加いただいたみなさん、ありがとうございました！
次回もよろしくお願いします！